



平成 22 年 11 月 8 日

各 位

会社名 株式会社コンテック  
代表者名 代表取締役社長 漆崎 榮二郎  
(コード番号 6639 東証第 2 部)  
問合せ先 常務取締役 藤井 貢  
電話番号 06-6472-7130 (代表)

平成 23 年 3 月期第 2 四半期累計期間の業績予想と実績値との差異  
及び平成 23 年 3 月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 22 年 8 月 11 日に公表しました平成 23 年 3 月期第 2 四半期累計期間の連結業績予想と実績値の差異、及び平成 22 年 5 月 13 日に公表しました平成 23 年 3 月期通期連結業績予想の修正について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 23 年 3 月期第 2 四半期累計期間の連結業績予想と実績値との差異  
(平成 22 年 4 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日)

|                                                   | 売上高   | 営業利益 | 経常利益 | 四半期純利益 | 1 株当たり<br>四半期純利益 |
|---------------------------------------------------|-------|------|------|--------|------------------|
|                                                   | 百万円   | 百万円  | 百万円  | 百万円    | 円 銭              |
| 前回発表予想 (A)                                        | 7,400 | 200  | 200  | 100    | 30.30            |
| 実績値 (B)                                           | 7,698 | 327  | 330  | 260    | 78.81            |
| 増減額 (B - A)                                       | 298   | 127  | 130  | 160    | —                |
| 増減率 (%)                                           | 4.0   | 63.5 | 65.0 | 160.0  | —                |
| (ご参考)<br>前期第 2 四半期実績<br>(平成 22 年 3 月期<br>第 2 四半期) | 4,857 | △595 | △629 | △414   | △125.51          |

(差異の理由)

第 2 四半期累計期間は、半導体市場の回復等による企業の設備投資に支えられたことに加え、「非製造業の市場開拓」、「構造改革」による生産性向上、原価低減等により、売上高・各利益とも前回予想を大きく上回る結果となりました。

## 2. 平成 23 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正

(平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)

|                                 | 売上高    | 営業利益  | 経常利益  | 当期純利益   | 1 株当たり<br>当期純利益 |
|---------------------------------|--------|-------|-------|---------|-----------------|
|                                 | 百万円    | 百万円   | 百万円   | 百万円     | 円 銭             |
| 前回発表予想 (A)                      | 12,000 | 100   | 60    | 10      | 3.03            |
| 今回発表予想 (B)                      | 14,500 | 350   | 340   | 260     | 78.81           |
| 増減額 (B－A)                       | 2,500  | 250   | 280   | 250     | －               |
| 増減率 (%)                         | 20.8   | 250.0 | 466.7 | 2,500.7 | －               |
| (ご参考)<br>前期実績<br>(平成 22 年 3 月期) | 11,071 | △311  | △372  | △177    | △53.77          |

(修正の理由)

第 3 四半期以降は、円高などを背景に景気の先行きに対する不透明感が懸念されますが、第 2 四半期累計期間の業績に支えられ、通期においても、売上高、各利益とも前回予想を大幅に上回る見通しであります。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

以 上